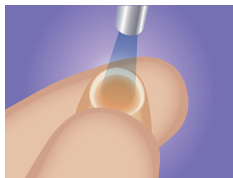


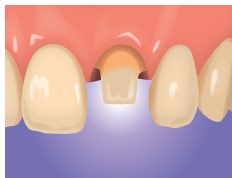
# G-ルーティングの基本操作ステップ (インレー・クラウン・ブリッジの場合)

クラウンの前処理



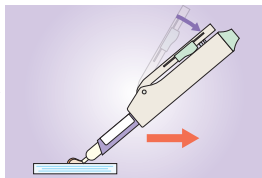
アルミナでサンドブラスト処理を行います。

窩洞・支台歯の清掃



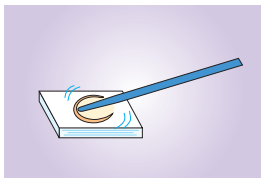
仮封材、仮着材等の除去を行い、水洗・乾燥させます。

計量



後ろに引きながらペーストを押し出します。

練和



10秒間しっかりと練りこみます。

クラウンのセット



## 余剰セメントの硬化

### 光重合の場合



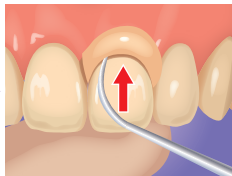
セット後すぐに光照射 (1~2秒)  
※クラウンを押しさえながら光照射します。

### 化学重合の場合



セット後1分30秒間保持  
※ワッテ等をかませて保持します。

## 余剰セメントの除去



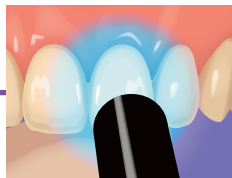
この段階ではセメントは硬化途中であるため、クラウンが浮き上がらないように押さえながら、装着方向に向けて余剰セメントを除去します。  
注) 余剰セメント除去後、セメントラインが露出している場合には光照射\*をおこないます。

## 最終硬化

**ポイント!**  
4分間保持



余剰セメントの除去後、ワッテ等をかませて4分間保持します。



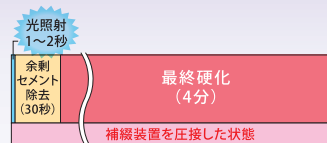
光透過性の高いクラウンの場合は、光照射\*での硬化も可能です。

## 接着完了

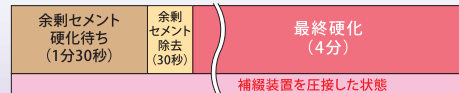


※患者さんへは、治療後30分は飲食を控えるようにお伝えください。

## 補綴装置セット後の硬化時間



## ■余剰セメントを光照射を行わずに除去する場合



### \*光照射時間

ハロゲン、LED	各方向から10秒ずつ
キセノン	各方向から9秒 (3秒×3回) ずつ

「G-ライトプリマ」の場合はF3モードで、照射時間はキセノンと同じ

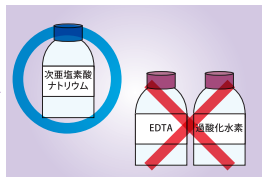
コアの操作ステップは、裏面をご参照ください。

# コアの接着に用いる場合の操作ステップ

根管壁の洗浄・乾燥



※超音波スケーラーを用いての洗浄を推奨します。



根管壁の洗浄に薬剤を使用する場合は、次亜塩素酸ナトリウム溶液をご使用ください。  
注) EDTA溶液や過酸化水素水は、硬化・接着阻害の要因となることから使用しないでください。

セメントの塗布



探針等を用いて根管内にセメントを充分満たすように塗布します。

メタルコアのセット



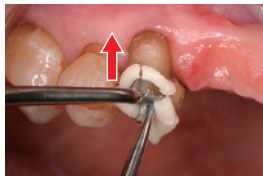
アルミナでサンドブラスト処理を行なったコアにもセメントを塗布して根管内にセットします。

光照射による余剰セメントの硬化



メタルコアを押しさえながら光照射(1~2秒)を行います。

余剰セメントの除去



この段階ではセメントは硬化途中であるため、メタルコアが浮き上がらないように押しさえながら、コア装着方向に向けて余剰セメントを除去します。

マージン部への光照射



余剰セメント除去後、コアの初期固定を安定させるため、マージン部に各方向から光照射\*を行います。

最終硬化



マージン部への光照射後、ワッペ等を嘴ませた状態で10分間保持します。

支台歯形成



10分間保持した後、支台歯形成やテックの製作を行います。  
※患者さんへは、治療後30分は飲食を控えるようにお伝えください。

コアの症例で残存歯質が少ない場合は、特にご注意ください。



\*光照射時間

ハロゲン、LED	各方向から10秒ずつ
キセノン	各方向から9秒(3秒×3回)ずつ

「G-ライトプリマ」の場合はF3モードで、照射時間はキセノンと同じ

ご使用に際しては、必ず製品の添付文書をお読みください。

**GC**

株式会社 ジーシー